

## 令和3年度事業の実績について

### 1 農地中間管理等事業

#### (1) 農地中間管理事業

令和3年度は3度の「まん延防止等重点措置」の適用をうけ、これまで以上に話し合い活動が十分にできない状態で事業推進が困難な状況であったが、感染防止対策をとりながら役員等への個別巡回を行う対応も行った。

このような中、令和3年度の農地中間管理事業による転貸面積は、前年を下回る1,449ha（前年比7%減）となり、「農地中間管理事業における集積3ヵ年計画」の年度目標である1,500～1,700haには届かなかった。

重点的な取組みとして、実質化された「人・農地プラン」の実現に向け、県下全域に新たに機構独自のモデル地区を設置し、地域を担う中心経営体へ農地を集積・集約化する取組みを推進した結果、44haの集積につながった。

基盤整備との連携では、機構集積協力金を地元負担金に活用するなど、機構のメリットを活かした取組みを推進した結果、4地区、91haの集積につながった。

円滑化事業との統合一体化については、承継計画のもと農協と連携し期間満了を迎えた案件の切替えとともに、合意解約による前倒し案件も併せて248haを承継した。

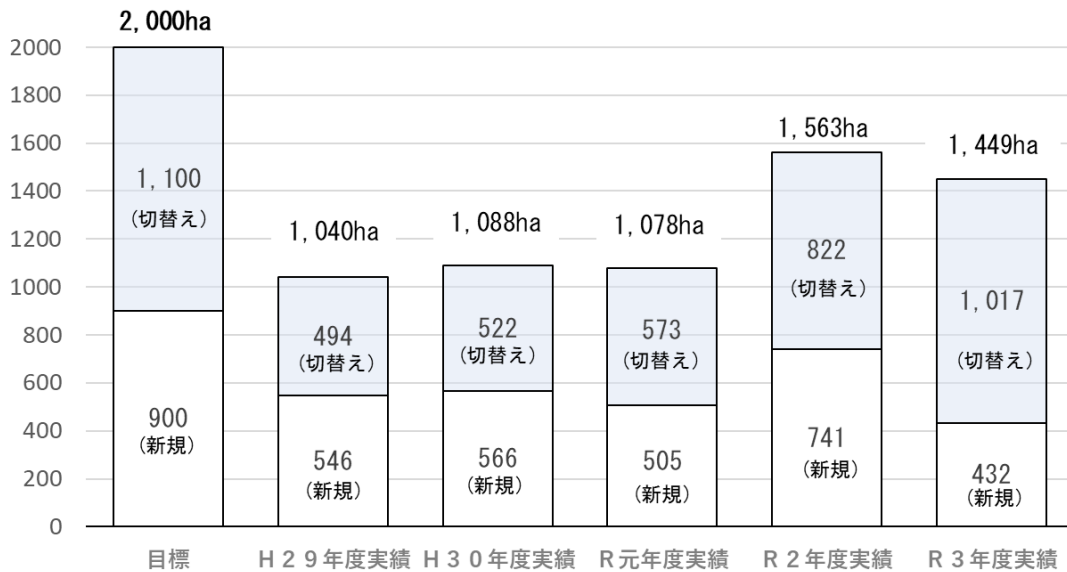
また、新しい取組みとして農業法人協会と連携し、会員法人が他制度等により利用している農地について機構への切替えを推進した結果、役員を中心に7社、23haの実績となった。

令和2年7月豪雨災害で被災された農地の受け手に対して、昨年度に引き続き、賃借料の免除を行った。（被災申出状況：9市町村24名、賃借料免除筆数89筆、面積11ha）

（単位：件，ha）

区 分		R3年度計画		R3年度実績		備 考
		件数	面積	件数	面積	
1 農地の貸借	借入	4,000	2,000	3,116	1,326	
	転貸	2,000	2,000	1,868	1,449	
※うち基盤整備との連携 (国営・県営)		9	160	4	91	

農地中間管理事業の集積実績 (ha)



(2) 農地集積加速化事業

これまでに指定された176地区のうち24地区において地域の話し合いによる農地の集積・集約化に取り組むとともに、指定期間が終了した重点地区についても、継続して農地集積の受け皿となる組織づくりを支援した。

その結果、指定地区全体で新たに3の地域営農組織（法人）が設立され、指定地区全体で431haの農地が集積された。

区分	R3年度計画	R3年度実績	備考
農地集積専門員（人）	11	11	
指定地区数計	176	176	
うち重点地区数	88	88	H24～27年度指定
うち集積促進地区数	76	76	H28～R1年度指定
うち樹園地地区数	12	12	H28～R1年度指定
集積面積（ha）	600	431	

※集積面積は、重点地区・促進地区の法人組織への機構を介しての新規集積面積及び基盤整備事業に伴う新規集積面積を計上

(3) 農地中間管理機構の特例事業（農地売買等事業）

農地の売買面積については、買入が128ha（計画比111%）、売渡153ha（計画比128%）となり、計画を上回る実績となった。

地域別では、球磨地域、阿蘇地域、八代地域、熊本市における買入面積が全体の7割を占めた。

球磨地域においては、葉タバコ・畜産農家、阿蘇地域では、水稻を中心とした畜産との複合経営農家、八代地域ではトマト・露地野菜農家、熊本市では園芸及び果樹農家の取得が多く、全体的に借入地を取得する案件も増加傾向にある。

また、地域農業の中核となる農地所有適格法人への売渡が増えてきており、当年度においては60件の実績となった。

区 分	R 3 年度計画		R 3 年度実績		計画比 (%)
農地売買等事業	買入	270 件	買入	406 件	150
		115 ha		128 ha	111
		1,150 百万円		793 百万円	68
	売渡	302 件	売渡	384 件	127
	119 ha		153 ha	128	
	1,004 百万円		1,000 百万円	99	

## 2 新規就農支援事業

新規就農支援センターは、「農業経営基盤強化促進法」及び「農業基盤の強化の促進に関する基本方針(熊本県)」に基づく「青年農業者等育成センター」として知事から認定を受け、就農促進の拠点として、熊本県農業会議とともに就農希望者への就農相談等に取り組んだ。

### (1) 新規就農支援センター機能強化事業

公社に就農相談員を3名、各地域に就農支援アドバイザーを11名配置し、就農希望者の相談に応じるとともに、センター主催等による就農・就業相談会を県内で8回開催した。

また、「新・農業人フェア」を始め県外の相談会に4回(オンライン3回含む)出展し、就農支援活動を行うとともに、ハローワーク熊本での出張相談も24回行った結果、就農相談件数は745件(計画比124%)となった。

就農支援資金については、既融資分の管理回収を行った。

### (2) 新規就農支援助成事業

農業後継者育成基金の運用益を活用、青年農業者や学校農業クラブ、NPO法人等33件の活動を支援し、新規就農者の確保・育成に取り組んだ。

区 分	R3年度計画	R3年度実績
①新規就農支援センター機能強化事業	(7)就農相談活動	
	㊦相談件数 600件	745件
	㊧就農相談員の設置 3名	3名
	㊨就農相談会の開催及び参加	
	35回	36回
	・県内(熊本市等) (3回)	(熊本市等) 8回
	・県外(東京、大阪、福岡等) (8回)	(東京、大阪、福岡) 4回
	・ハローワーク相談 (24回)	(ハローワーク出張相談) 24回
	㊩無料職業紹介 10件	6件
	㊪情報の収集・提供	
	・関係機関情報交換会 2回	2回
	・ウェブサイト情報更新 随時	更新回数 253回 SNS更新 212回
・教育機関への情報提供 随時	3回	
㊫親元就農Uターン者相談 随時	3回	

区 分	R3年度計画	R3年度実績
①新規就農支援 センター機能 強化事業 (再掲)	(イ) 新規就農者育成支援活動 ㊦ 就農支援アドバイザーの設置 11名 ㊧ 就農後のフォロー 40回 ㊨ 認定研修機関等との連携 ・ 熊本県就農支援機関協議会 随時 ・ 県立農業大学校等教育機関 随時 (ウ) バスツアーの開催 2回 (エ) 調査・研修等の活動 随時 (オ) 就農支援資金の管理回収 ・ JA 事務委託、現地調査等 23件	11名 130回 打合せ会議 2回 連携会議 2回 集合研修 3回 0回 3回 46件
②新規就農支援 助成事業 ※基金運用益 を活用	(ア) 県青年農業者クラブ連絡協議会 活動支援事業 1件 (イ) 青年農業者海外研修等支援事業 2件 (ウ) 学校農業クラブ等地域課題解決 活動支援事業 5件 (エ) 就農支援機関協議会助成事業 1件 (オ) 就農準備研修機関等支援事業 4件 (カ) 地域新規就農支援組織等支援 事業 6件 (キ) 地方青年農業者クラブ課題解決 活動支援事業 11件	1件 1件 9件 1件 3件 7件 11件

### 3 熊本県農業公園管理運営等事業

熊本県農業公園指定管理（4期目）の5年目となる令和3年度においては、農業公園の理念である県民への農業理解の促進と憩いの場の提供、農業情報の発信等に関するイベントのほか、自主イベントなど新型コロナウイルス感染症の影響による公園利用者の制限等がある中、「秋のバラまつり」は内容の一部を変更して開催、夏季の「水遊び広場」は予約制で人数制限を行い実施、「ペットボトルロケット教室」、年明けの「新春たこあげ大会」も感染対策に留意しながら実施した。更に、恒例となっているJA植木まつりは、今年度は予定どおり開催され、サッカー大会やクロスカントリー大会等の芝生広場を活用した誘致イベントの一部についても実施することができた。

また、農業や食への理解を促進するためのカントリーパーク「食農塾」では、幼稚園・保育園を対象に甘藷、落花生、じゃがいも、大根の収穫等の体験農園の一部を実施したものの、食育として親子やグループを対象とした石窯ピザづくり等体験については自粛傾向であったが、公園主催の米粉を使用した料理教室は開催した。

体験農園については、63団体で4,811人（計画比57%）が参加、食の体験では、石窯ピザづくり等体験に12団体413人の参加があった。

また、公社と連携協定を締結している㈱アスリートクラブ熊本の「きずなCUP ロアッソ熊本サッカー大会」、また同じく協定を締結している合志市の「こうし市民まつり」は中止となった。

この結果、令和3年度の総入園者数は約30万3千人（計画比59%）、有料入園者数約7万9千人（計画比87%）、無料入園者数約22万5千人（計画比54%）の実績となった。

このほか、県民参加の公園づくりを進める観点から農業公園バラサポーター57名の登録を行い、バラ園管理などに参加していただいた。

#### (1) 入園者実績

（単位：人数、%）

入園者	R3年度計画	R3年度実績	計画比
総入園者	510,000	303,299	59
有料入園者	90,000	78,586	87
無料入園者	420,000	224,713	54

#### (2) 体験農園実績

（単位：延人数、%）

作物	体験内容	R3年度計画	R3年度実績	計画比
体験農園		8,500(120団体)	4,811(63団体)	57
落花生	植付、生育観察、収穫	—	342(3団体)	—
甘藷	植付、生育観察、収穫	—	3,150(40団体)	—
じゃがいも	収穫	—	※中止	—
大根	収穫	—	1,319(20団体)	—

## (3) 食の体験実績

(単位：延人数、%)

項目	R3年度計画	R3年度実績	計画比
食の体験	2,500 (50 団体)	413 (12 団体)	17
石窯ピザづくり等体験	-	399 (11 団体)	-
食の名人等料理教室	-	14 (1 団体)	-

## (4) 主なイベントの開催実績

## ① 自主イベント

イベント名	開催日
春のバラまつり	5月開催 (中止)
水遊び広場	7月22日～8月30日
秋野菜園芸講習会	8月10日
夏休み自由研究 (ペットボトルロケット教室)	8月9日
秋のバラまつり	10月9日～24日
フラワーアレンジ教室	11月7日
新春たこあげ大会	1月9日
接ぎ木教室	1月30日 (中止)
体験農園 (落花生、甘藷、じゃがいも等)	4月1日～3月31日
石窯ピザづくり等体験	4月1日～3月31日
米粉教室	11月17日
食の名人等料理教室	9・2月開催 (中止)

## ② 共催イベント

イベント名	開催日
春のうまかもんフェア	5月開催 (中止)
秋のうまかもんフェア	10月9・10・16・17・23・24日
きずな CUP ロアッソ熊本サッカー大会	12月開催 (中止)

## ③ 誘致イベント

イベント名	開催日
Kumamoto 肉万博 ハッピーマルシェ	4月3・4日
くまもとロハスマーケット	4月10・11日
九州蚤の市	4月17・18日
第13回合志市子育て支援サッカー大会	4月24・25日
くぬぎの丘マルシェ	5月1・2日
ハッピーマルシェ	5月8・9日
KJリーグサッカー大会	6～3月8回開催
くまもとロハスマーケット	6月5・6日
ハッピーマルシェ	9月18・19日
たこ焼フェスタ	9月18・19日 (中止)
くまもとロハスマーケット	9月25・26日
こうし市民まつり	10月開催 (中止)

ひまわりマルシェ	10月23・24日
赤い羽根カップ TKU ジュニアサッカー大会	10月30・31日
2021 くまもと農業フェア	11月開催（中止）
くぬぎの丘マルシェ	11月7・8日
カレー王座決定戦 ハッピーマルシェ	11月13・14日
寒蘭花展示会	11月13・14日
中セキ農機展示販売会	11月17・18日
九州蚤の市	11月20・21日
くまもとロハスマーケット	12月4・5日
ひのくに高等支援学校駅伝大会	12月10日
ウインターマルシェ	12月25・26日
熊本県高等学校クロスカントリー大会	1月6日
合志市民健康カントリーマラソン大会	1月8日
第46回 JA 植木まつり	1月22日～2月21日
キッズ・ジュニアサッカーフェスティバル	3月5・6日
第18回無人ヘリコプター安全飛行競技大会	3月8日
ハッピーマルシェ	3月19・20日
熊本10k マラソン 20k リレーマラソン	3月26日
ひみつのマルシェ	3月27日



#### 4 他団体からの委託事業

##### (1) 家畜人工授精用精液の取引仲介業務受託

家畜改良事業団が取り扱う家畜の精液について、家畜改良事業団と県下の農業団体との間で行われる売買の仲介業務を実施した。

(単位：本、千円、%)

項目	R3年度計画	R3年度実績	計画比
取扱本数	1,200	974	81
受託料	300	189	63

## 5 管理部門

公社業務の円滑な運営のため、役員会 6 回（会議開催 3 回、決議省略 3 回）、評議員会 2 回（会議開催 1 回、決議省略 1 回）を開催するとともに庶務経理等の業務を執行した。

### （1）理事会

決議の省略の方法による理事会（令和 3 年 4 月 22 日）

第 1 号議案 決議の省略の方法による評議員会の開催について

第 2 号議案 評議員会の決議事項について

※上記議案について理事 8 名の全員同意で可決する旨の決議があったものとみなされた。

決議の省略の方法による理事会（令和 3 年 5 月 28 日）

第 1 号議案 評議員候補者の推薦について

第 2 号議案 評議員選定委員の選任について

※上記議案について理事 9 名の全員同意で可決する旨の決議があったものとみなされた。

決議の省略の方法による理事会（令和 3 年 6 月 8 日）

第 1 号議案 令和 2 年度事業報告及び事業報告の附属明細書の承認について

第 2 号議案 令和 2 年度貸借対照表、正味財産増減計算書、貸借対照表及び正味財産増減計算書の附属明細書並びに財産目録の承認について

第 3 号議案 諸規程の一部改正について

第 4 号議案 決議の省略の方法による評議員会の開催について

第 5 号議案 評議員会の決議事項について

報告事項 農地中間管理事業評価委員会において出された意見について

※上記議案について理事 9 名の全員同意で可決する旨の決議があったものとみなされた。

第 33 回 理事会（令和 3 年 6 月 24 日）

第 1 号議案 理事長の選定について

第 2 号議案 評議員選定委員の選任について

※上記議案について原案のとおり承認された。

出席理事数 6 名、出席監事数 3 名

第 34 回 理事会 (令和 3 年 11 月 8 日)

第 1 号議案 諸規程の一部改正について

第 2 号議案 常勤役員報酬について

報告事項 令和 3 年度上半期における理事長の職務執行状況報告について

令和 3 年度事業の中間報告について

財務の状況について

※上記報告事項について報告された。

出席理事数 6 名、出席監事数 3 名

第 35 回 理事会 (令和 4 年 3 月 25 日)

第 1 号議案 令和 3 年度収支予算書の変更について

第 2 号議案 令和 4 年度事業計画書、収支予算書、資金調達及び設備投資の見込みについて

第 3 号議案 役員賠償責任保険契約の締結について

第 4 号議案 事務局長等の重要な職員の選任及び解任について

報告事項 令和 3 年度下半期における理事長の職務執行状況報告について

令和 3 年度事業の実績見込みについて

※上記議案について原案のとおり承認された。

出席理事数 7 名、出席監事数 1 名

(2) 評議員会

決議の省略の方法による評議員会 (令和 3 年 5 月 6 日)

第 1 号議案 役員の選任について

※上記議案について評議員 6 名の全員同意で可決する旨の決議があったものとみなされた。

第 10 回 評議員会 (令和 3 年 6 月 24 日)

第 1 号議案 令和 2 年度貸借対照表、正味財産増減計算書及び財産目録の承認について

第 2 号議案 役員の選任について

報告事項 令和 2 年度事業報告について

※上記議案について原案のとおり承認された。

出席評議員数 7 名

(3) 監査 (令和 3 年 6 月 2 日)

令和 2 年度財務状況並びに業務執行状況について、公社監事(森哲弥・亀割安博・久保田修)による監査が実施された。